

愛労連交運部会は各級議員と懇談！ 人手不足・長時間労働・安全対策など要請



12/18、愛労連交運部会は、各級議員団と交通政策懇談会を開催しました。

議員団からは、本村伸子国会議員、鷲野恵子県会議員、山口清明名古屋市長が参加し、交運部会からは、竹市部会長、谷藤事務局長などトラック・タクシー・鉄道・港湾・運輸行政機関から7名（建交労から3名）が参加しました。また、議員秘書や赤旗・業界紙の記者も同席しました。

懇談では、名古屋圏の交通問題、とりわけ行政機関へ要請している内容で懇談しました。鉄道からは、JR東海各駅でのホーム要員配置問題や鶴

舞駅名大病院口におけるエレベーター設置問題が出され、金山駅でのホーム稼働柵が平成30年1月から実証実験に入ることが報告されました。議員団からは、市民の要望を聞こうとしないJR東海の特異な体質について、批判の声が相次ぎました。トラックでは、長時間労働の是正や運転手不足問題について議論がありましたが、業界の魅力をどのようにして高めていくか、との認識で一致しました。また、名港トリトンの有料道路代金や名古屋高速道路の料金引き下げに双方の立場から行政機関を追求していくことの重要性などが確認されました。

名古屋地区における交通政策は、東京地区や関西地区とは違った問題を持ち合わせています。国の政策だけでは解決できない地域的な問題について、こうした場を通じて関係行政機関に解決を迫っていくことが重要であることが、あらためて認識されました。

作家からみた「大企業の非人間的な労働者の扱い」 JAL解雇撤回愛知の会学習決起集会！

12・8 作家の井上文夫さんを招き「作家からみた、大企業の非人間的な労働者の扱い」と題して学習決起集会を愛労連会館に於いて開催いたしました。

井上文夫さんからは、歴史的にみる日航の労務政策と労働者の闘い。JALの職場(パイロット、客室乗務員)の現状。今後の闘いについてなど、分裂策動、政府の弾圧、民間航空史上初のスト。深刻化する人材不足、労働強化に伴う健康破壊、不安全事故の増大などJALの体質に触れての報告がされました。また、原告団の山口団長からは、支援する組織が全国で30組織となって原告団が支えられていることや、3労組統一要求の支持と争議の早期全面解決を求める署名が2300団体を越えている状況が報告されました。原告団の平野さんからも争議に対するお礼が述べられました。

JAL解雇撤回愛知の会、事務局から谷藤書記長が代表し、支える会への加入要請や要請行動など行動提起が行われました。

